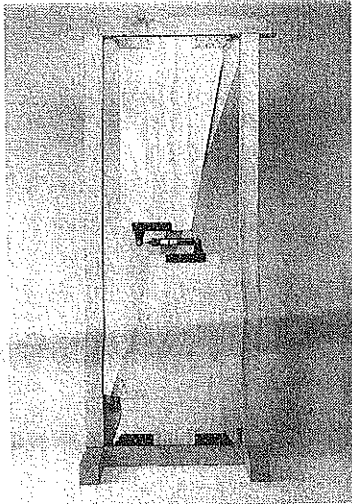


GHハイブリッド制震装置

耐震リフォーム需要先取り

様々な商品 企画を手掛ける江戸川木材工業（東京都、市川英治社長）では、日立製作所と共同で「GHハイブリッド」が開発したオイルダンパを、28ミリの厚の構造用合板と専用金物とで木造戸建て住宅の壁に取り付けるもの。オイルダンパは繰り返し揺れを低減し、変形を抑える仕組みだ。

「耐震装置」を開発。2000年4月から発売を開始し、08年度は年間1217棟の住宅に設置されるなど順調な伸びで、5年後にはこの4倍の販売数を目指している。



GHハイブリッド制震装置

し揺れを吸収するた層向上された。め、連続して発生する耐震改修では、既存余震にも対応し、住宅の耐震性を診断の倒壊や損傷を防ぐ。し、そのデータを専用実験では、阪神・淡路大震災レベルの地震工ネルギーに対し、装置が提案される。都内のなして比べて、建物の変形を約70%も抑えることが確認されている。

開発当初は、耐震改修も耐震も認知度が低かったが、05年に財団法人建築防災協会で、

「耐震性を向上できる補強工法である」との評価を日本で初めて取得、住宅補強補助制度も利用できるような流れを先取りした商品と、信頼性が一気に高まった。筋違のある壁には太すぎて施工が難しいという問題もあつたが、昨年2月にオイルダンパの直径を45ミに改良し、施工性も一

は、全国に24社ある代理店と、講習を受けた登録業者（現在約600社）を通じて販売、施工される。

耐震改修需要は今後も増加傾向で、減税や補助など行政の後押しもある。制震装置は時

や建材の売り上げ減少をカバーしているとい

う。今後は、耐震以外

のリフォーム需要も進め

る。

いく方針。